

|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 間谷論集 第15号 会務報告 / 会則細則 / 投稿規定 / 2019年度会計報告   |
| Author(s)    |   |
| Citation     | 間谷論集. 2021, 15, p. 123-132  |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/83218">https://hdl.handle.net/11094/83218</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 会 務 報 告

### I 2020 年度の総会報告

#### 1. 2020 年度第 1 回総会

日時：2021 年 3 月 13 日(土) 13:10～13:35

実施方法：オンライン (Zoom)

議事：

(1) 議長の選出

今西利之氏が議長に選出された。

(2) 日本語日本文化教育研究会賞受賞式

實平代表から、2020 年日本語日本文化教育研究会賞の受賞者の発表があり、授賞式を執り行った。

受賞者 ヘッティヤーハンディ ワッサラ ディシルワ氏

(3) 報告：会計監査について

監事の阪上彩子氏より、2019 年度会計報告書案が提示され、適切に監査が行われている旨説明があり、満場一致にて、これを承認した。

### II 2020 年度の研究会報告

#### 1. 第 38 回研究会

日時：2020 年 7 月 4 日(土) 13:00～16:55

開催方法：オンライン (Zoom)

研究発表

包雅梅 (大阪大学大学院生)

「数量を表す形容詞「多い」の述語としての特性

－客観的形容詞との類似性を中心に－

頼俊雯 (大阪大学大学院生)

「ほのめかし表現における否定疑問文の使用について

－日中対照の観点から－

VRBOVSKY, Matej (大阪大学大学院生)

「文末表現スロット仮説—終助詞の場所はどこにあるか—」

高子瑜 (大阪大学大学院生)

「傳抱石の絵画創作における日本画からの影響

—彼の「蘇武牧羊図」と中村不折筆「蘇武之苦節」を中心に」

馬場裕子 (大阪大学日本語日本文化教育センター)

「異文化間移動と人格形成の一考察

— ATCK となった TCK の語りから—」

宮谷敦美 (愛知県立大学)

「遠隔による日本語教育実習の試み—ベトナムの日本語教育機関との

日本語会話活動に関する実践報告を中心に」

## 2. 第 39 回研究会

日時：2021 年 3 月 13 日(土) 13:00 ~ 17:00

開催方法：オンライン (Zoom)

研究発表

楊宇洲 (大阪大学大学院生)

「日本の灌仏会の展開—稚児行列や子どもの大会、学校行事を中心に」

Dr. Shiri Lieber-Milo (Independent researcher)

「The positive aspects of kawaii consumption」

汪聞君 (大阪大学大学院生)

「ピジン言語から見た日本語の口頭表現の文型」

小亀拓也 (大阪大学大学院生)

「聞き手における文の認定について」

阪上彩子 (立命館大学)

「実生活に役立つ日本語初級 WEB 聴解教材の試用」

### Ⅲ 事務局からのお知らせ

- ・会費納入のお願い

当研究会は会員各位の会費により運営されております。会費の納入にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

〈郵便振込〉

口座番号 00920-9-203493

加入者氏名 日本語日本文化教育研究会

※銀行等からの振込の場合は、次の支店名・口座情報をご利用ください。

〈銀行振込〉

支店名 ○九九店（ゼロキュウキュウテン）

口座種別 当座

口座番号 0203493

## 日本語日本文化教育研究会 会則

- 第1条 本会は、「日本語日本文化教育研究会」と称する。
- 第2条 本会は、事務局を次の所在地に置く。  
大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1 大阪大学日本語日本文化教育センター内
- 第3条 本会は、日本語日本文化教育の研究及び発展と会員相互の親睦を目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。  
(1) 研究会の開催  
(2) 紀要の発行  
(3) その他、本会の目的を達成するために必要な事業
- 第5条 本会の趣旨に賛同し、所定の会費を納めた者を会員とする。  
会費は、細則によって別に定める。
- 第6条 会員は、本会主催の事業に参加し、紀要の配布を受け、同誌に研究論文などを投稿することができる。
- 第7条 総会は毎年1回開催する。ただし、必要と認められた場合には、臨時総会を開くことがある。
- 第8条 本会に、次の役員を置く。  
代表 1名  
代表は総会の召集を行い、会の運営に責任をもつ。  
運営委員 若干名  
運営委員は委員会を組織し、会務を処理する。  
監事 若干名  
監事は会計監査を行う。  
代表は会員の中から運営委員会によって推薦され、総会の承認を得て決定される。  
運営委員及び監事は会員の中から運営委員会又は5名以上の会員によって推薦され、総会の承認を得て決定される。

役員の任期は2年とし、再選を妨げない。役員の任期は2年とし、再選を妨げない。

第9条 本会に、編集委員会を置く。

編集委員会は運営委員会が選出した委員によって構成され、紀要の編集業務を担当する。

第10条 本会の事務遂行に要する費用は、会費その他による。

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第12条 本会則の変更は、総会の議決を経て行う。

#### 附則

本改正会則は、2009年9月12日より施行する。

## 日本語日本文化教育研究会賞規程

### (目的・名称)

第1条 日本語日本文化教育研究会における研究の一層の向上を目的として、若手会員の傑出した研究論文を顕彰することを主眼とした「日本語日本文化教育研究会賞」(以下「論文賞」という)を設ける。

### (授賞対象)

第2条 論文賞は、当該年に刊行された研究会紀要『間谷論集』の「研究論文」のうち、執筆者(共著の場合は執筆者全員)が次のイ・ロいずれかにあてはまる会員であるもので、特に優れていると認められるものに授与する。

イ 学部生・大学院生

ロ 修士または課程博士の学位取得後5年以内の者

- 2 論文賞は、毎年1論文に対して授与する。選考の結果賞にふさわしい論文がないと判断された場合は、該当論文なしとする。
- 3 共著の場合を含め、授賞は1回のみとする。

### (論文賞選考委員会)

第3条 論文賞の選考のために「日本語日本文化教育研究会賞選考委員会」(以下「選考委員会」という)を設ける。

- 2 選考委員会は、5名の選考委員からなり、うち少なくとも1名は紀要編集委員とする。
- 3 選考委員は、年ごとに研究会代表が紀要編集委員と協議のうえ、運営委員会の承認を経て委嘱する。

### (選考過程)

第4条 選考委員会は授賞候補論文を選考し、書面(授賞理由および資格の有無を記載したもの)で運営委員会に推薦する。

- 2 選考委員会は、当該論文の査読委員等、外部の意見を求めてよい。

(賞の決定)

第5条 運営委員会は選考委員会からの推薦に基づき授賞論文を決定する。

(授賞)

第6条 授賞対象者には，総会において表彰状を授与する。

附則

本規程は、2019年3月刊行予定の『間谷論集』第13号より適用する。



## 『間谷論集』 投稿規定

### 1. 投稿資格

日本語日本文化教育研究会の会員及び編集委員会が特別に認めたもの

### 2. 内容

日本語日本文化教育に関する未発表の研究論文、研究ノート・研究動向・研究報告等

### 3. 分量

研究論文：20 ページ以内（36 字× 29 行）（英文は 8,000 語以内）

研究ノート・研究動向・研究報告：10 ページ以内（36 字× 29 行）（英文は 4,000 語以内）

### 4. 提出期限

投稿申し込み、完成原稿の提出期限については、本規定とは別に定めます。

### 5. 投稿申し込み・完成原稿提出方法

①投稿申し込みは、郵送またはEメールで、以下の項目を事務局にお知らせください。

宛先は、本規定とは別に定めます。

投稿のジャンル（「研究論文」「研究ノート」「研究動向」「研究報告」のいずれか）

題目

キーワード（3－5 語程度）

投稿者の氏名・所属・連絡先住所・電話番号・Eメールアドレス

②事務局が投稿申し込みを受け付けた後、編集委員会から完成原稿の提出方法および執筆要領をお知らせします。

③完成原稿提出時に、本文和文の場合、英文による要旨（300 語程度）を、

本文英文の場合、和文による要旨(800字程度)を併せて提出してください。

- ④完成原稿は、編集委員会と外部レフリーが審査し、その結果をすみやかに投稿者に通知します。

※特殊な文字や図版については、別途ご相談させていただく場合がございます。

**郵送先**：〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1

大阪大学日本語日本文化教育センター

日本語日本文化教育研究会事務局

**事務局Eメールアドレス**：jlcociety@cjl.osaka-u.ac.jp

(件名に「日本語日本文化教育研究会紀要投稿」と表記願います)

(参考) **第15号 投稿申込・完成原稿提出期限**

投稿申し込み：2020年9月30日必着

完成原稿の提出：2020年10月31日必着

2019 年度 日本語日本文化教育研究会 会計報告  
(2019 年 4 月～2020 年 3 月)

|                     |
|---------------------|
| 収入の部：合計 ￥ 2,324,197 |
|---------------------|

|             |             |
|-------------|-------------|
| (内訳) 昨年度繰越金 | ￥ 1,879,188 |
| 年会費納入       | ￥ 445,000   |
| 利子          | ￥ 9         |

|                   |
|-------------------|
| 支出の部：合計 ￥ 471,081 |
|-------------------|

|                                  |           |
|----------------------------------|-----------|
| (内訳) 『間谷論集』第13号の発行               | ￥ 420,432 |
| 郵送費 (論集送付用スマートレターを含む)            | ￥ 16,025  |
| 雑費 (貸会議室、OA 賞状用紙、研究会印鑑、HP 作成ソフト) | ￥ 34,624  |

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 残 高： ￥ 1,853,116 | (2020 年 3 月末) |
|------------------|---------------|

上記のとおり相違ありません。

2020 年 9 月 16 日

|            |        |   |
|------------|--------|---|
| 2020 年度 監事 | 阪上 彩子  | Ⓜ |
|            | 千々岩 宏晃 | Ⓜ |